

青森県経済統計報告

平成19年1月4日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成18年12月1日現在） 1

県人口	1,422,159人（対前月 693人 減少）
自然動態	375人減少（出生者数 860人、死亡者数 1,235人）
社会動態	318人減少（転入者数 1,201人、転出者数 1,519人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、雇用面や消費面の一部に改善の動きがみられるものの、生産面で足踏み状態が続いている。

（2）主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の 平成18年10月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整 ... 2
生産動向 済指数が95.7で、前月と同値となった。また、原指数は102.2で、前
年同月比2.0%の低下となり、2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

(2-2) 雇用情勢 平成18年10月の定期給与は229,290円で前年同月比1.8%減となった。 ... 3
総実労働時間は162.4時間で前年同月比1.5%増、所定外労働時間は9.4
時間で前年同月比4.1%減となった。
平成18年11月の有効求人倍率(季節調整値)は0.46倍で、前月より0.01
ポイント上回った。

(2-3) 物価 平成18年11月の青森市消費者物価指数は、平成17年を100として99.8 ... 4
となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

(2-4) 個人消費 平成18年10月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが139億4千4百 ... 5
万円で前年同月比2.4%減と2ヶ月連続で減少、既存店ベースでは2.3%
減と11ヶ月連続で減少となった。
平成18年11月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,681
台で、前年同月比6.9%の増となり、3ヶ月ぶりに前年を上回った。

(2-5) 住宅建設 平成18年11月の新設住宅着工戸数は679戸で、前年同月比16.4%減と ... 6
なり、4ヶ月ぶりに前年を下回った。

(2-6) 企業倒産 平成18年11月の企業倒産件数は9件で、4ヶ月連続で前年を上回った。 ... 6

（3）景気動向指数（平成18年10月分） 7

先行指数	88.9%（2か月ぶりに50%を上回った）
一致指数	55.6%（2か月連続で50%を上回った）
遅行指数	50.0%（2か月連続で50%となった）

1 青森県の推計人口(平成18年12月1日現在)

【概況】

平成18年12月1日現在の本県推計人口は、1,422,159人で、前月に比べ693人の減少となった。

○自然動態

出生者数が860人、死亡者数が1,235人で、375人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,201人、転出者数が1,519人で、318人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	自然増減数		社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
17.12.1	1,435,654	678,494	757,160	-0.046%	-660	-366	863	1,229	-294	1,323	1,617
18.1.1	1,434,936	678,117	756,819	-0.050%	-718	-418	790	1,208	-300	1,184	1,484
18.2.1	1,433,691	677,440	756,251	-0.087%	-1,245	-685	851	1,536	-560	1,119	1,679
18.3.1	1,432,695	696,915	755,780	-0.069%	-996	-470	754	1,224	-526	1,217	1,743
18.4.1	1,426,703	673,671	753,032	-0.418%	-5,992	-393	925	1,318	-5,599	4,191	9,790
18.5.1	1,425,934	673,296	752,638	-0.054%	-769	-356	818	1,174	-413	4,422	4,835
18.6.1	1,425,271	672,856	752,415	-0.046%	-663	-271	984	1,255	-392	1,643	2,035
18.7.1	1,424,530	672,338	752,192	-0.052%	-741	-279	910	1,189	-462	1,345	1,807
18.8.1	1,424,090	672,039	752,051	-0.031%	-440	-217	914	1,131	-223	1,930	2,153
18.9.1	1,423,840	671,898	751,942	-0.018%	-250	-239	923	1,162	-11	2,171	2,182
18.10.1	1,423,412	671,651	751,761	-0.030%	-428	-146	940	1,086	-282	1,590	1,872
18.11.1	1,422,852	671,368	751,484	-0.039%	-560	-259	946	1,205	-301	1,737	2,038
18.12.1	1,422,159	671,025	751,134	-0.049%	-693	-375	860	1,235	-318	1,201	1,519

11月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平9.11	10.11	11.11	12.11	13.11	14.11	15.11	16.11	17.11	18.11
自然動態	出生者数	988	1,047	1,087	1,050	1,038	946	870	965	863	860
	死亡者数	980	1,139	1,073	1,153	1,161	1,194	1,075	1,265	1,229	1,235
	自然増減数	8	-92	14	-103	-123	-248	-205	-300	-366	-375
社会動態	県外からの転入者数	1,368	1,490	1,489	1,469	1,485	1,345	1,368	1,431	1,323	1,201
	県外への転出者数	1,238	1,377	1,424	1,269	1,461	1,495	1,442	1,646	1,617	1,519
	社会増減数	130	113	65	200	24	-150	-74	-215	-294	-318

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。

※2 平成17年12月以降の人口は平成17年国勢調査人口を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

※5 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

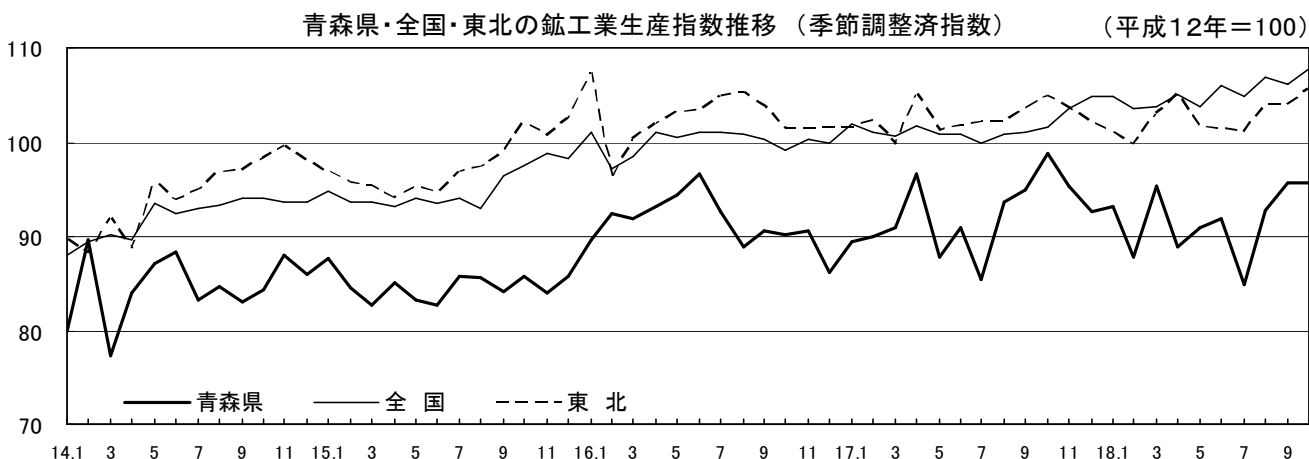
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

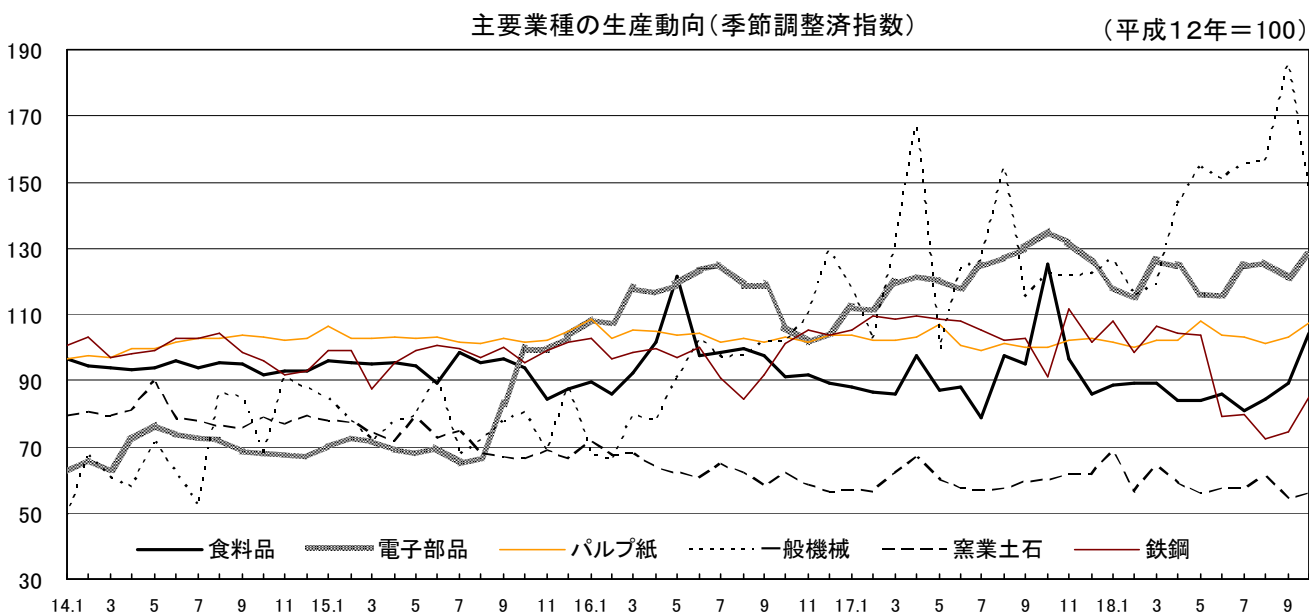
平成18年10月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が95.7で、前月と同値となった。また、原指数は102.2で、前年同月比2.0%の低下となり、2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、食料品工業、電子部品・デバイス工業などが上昇に寄与した一方、電気機械工業、一般機械工業、繊維工業などが低下し、鉱工業全体では前月と同値となった。



◎業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 +0.0%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	169.7	89.6	電気機械工業	-28.4	-46.6
食料品工業	17.2	69.6	一般機械工業	-21.8	-42.6
電子部品・デバイス工業	5.5	13.7	繊維工業	-9.2	-5.2
鉄鋼業	13.9	9.6	プラスチック製品工業	-9.0	-2.8
パルプ・紙・紙加工品工業	3.8	5.7	輸送機械工業	-9.9	-1.4



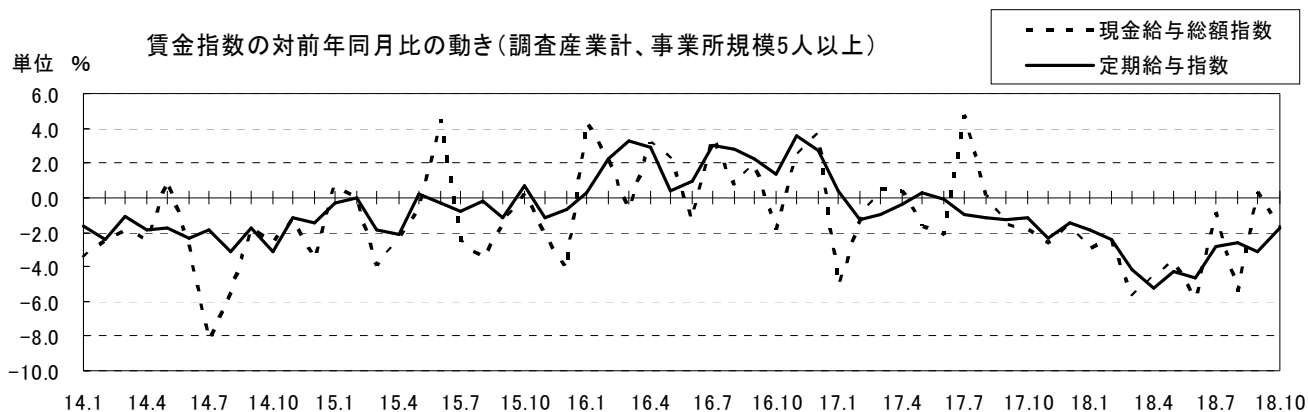
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成18年10月の定期給与は229,290円で定期給与指数(平成12年=100)では96.6となり、前年同月比1.8%減(現金給与総額231,547円、現金給与総額指数80.2、前年同月比1.8%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.8となった。

所定外労働時間は9.4時間で、所定外労働時間指数では109.3となり、前年同月比4.1%減となった。

平成18年11月の有効求人倍率(季節調整値)は0.46倍で、前月より0.01ポイント上回った。



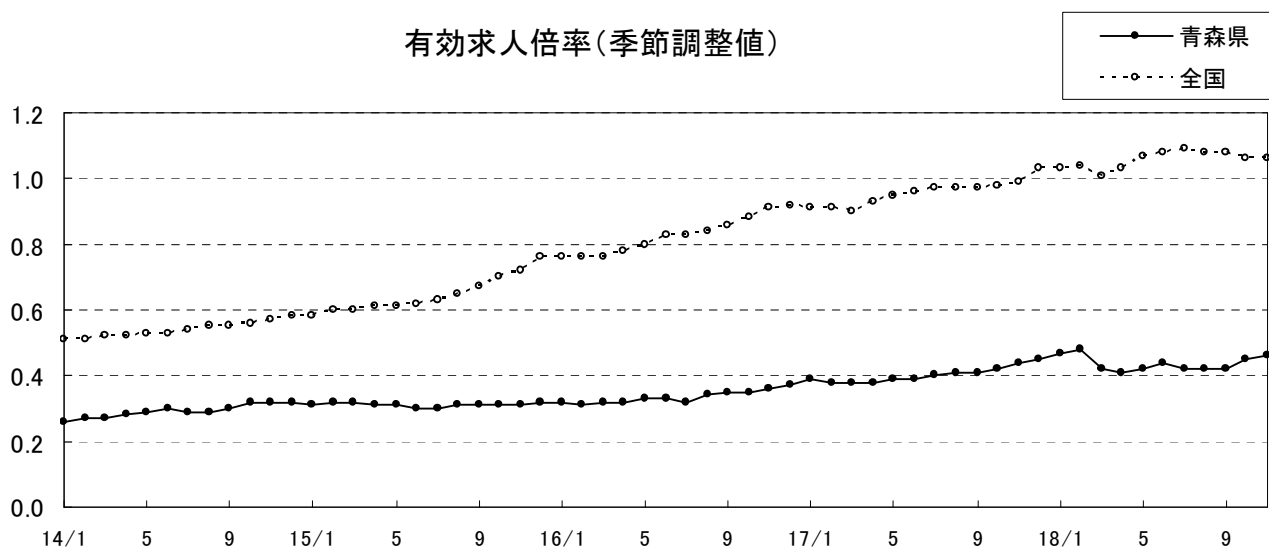
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	231,547 円	278,061 円	80.2	78.7	-1.8 %	0.0 %
定期給与	229,290 円	273,725 円	96.6	97.1	-1.8 %	0.1 %
特別給与	2,257 円	4,336 円	—	—	—	—
総実労働時間	162.4 時間	152.4 時間	102.5	99.0	1.5 %	1.3 %
所定内労働時間	153.0 時間	141.6 時間	102.1	98.3	1.9 %	1.2 %
所定外労働時間	9.4 時間	10.8 時間	109.3	110.2	-4.1 %	2.9 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料: 県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成18年11月の青森市消費者物価指数（平成17年=100）は、総合指数が99.8となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

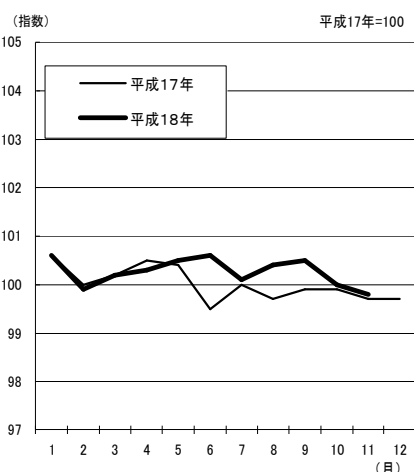
生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.2%の下落となった。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は98.8となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.9%の下落となった。

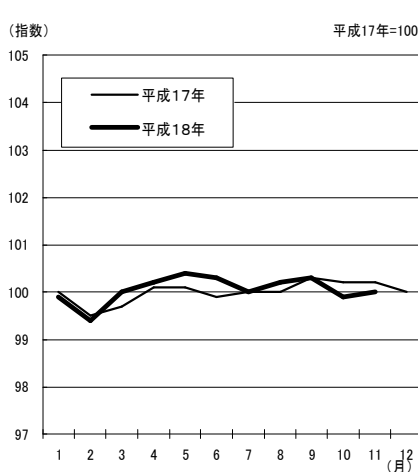
総合指数が前月と比べ0.2%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料などの下落が要因となっている。

総合指数の前年同月比が0.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料、交通・通信などの上昇が要因となっている。

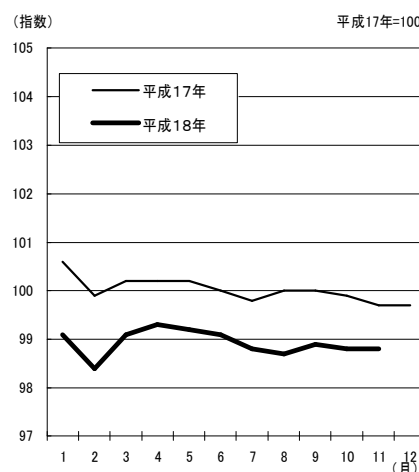
総合指数の動き



生鮮食品を除く総合指数の動き



食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服履物	保健医療	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
当月指数	99.8	100.0	100.0	98.8	98.4	96.1	98.7	106.8	93.7	101.6	100.4	100.7	100.6	97.8	100.6	
前月比(%)	▲0.2	0.1	▲0.2	0.0	▲0.6	▲4.3	0.0	▲0.6	▲0.4	▲0.5	0.1	0.7	0.0	▲0.3	▲0.1	
寄与度	▲0.20	0.09	▲0.17	0.00	▲0.17	▲0.24	0.00	▲0.06	▲0.01	▲0.02	0.00	0.08	0.00	▲0.03	▲0.01	
前年同月比(%)	0.1	▲0.2	0.3	▲0.9	0.6	4.5	▲1.4	1.5	▲3.2	▲0.2	0.4	1.6	0.4	▲1.8	0.6	
寄与度	0.10	▲0.19	0.25	▲0.57	0.17	0.23	▲0.29	0.16	▲0.10	▲0.01	0.02	0.17	0.01	▲0.18	0.03	

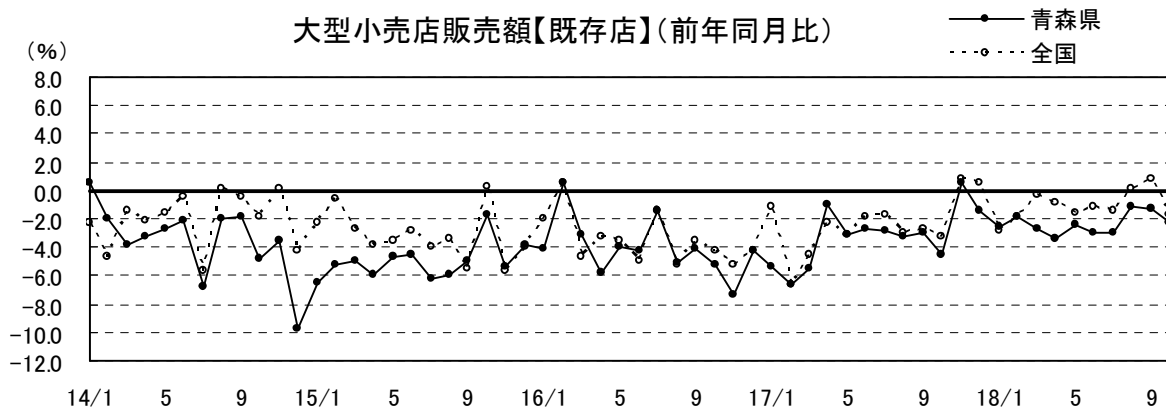
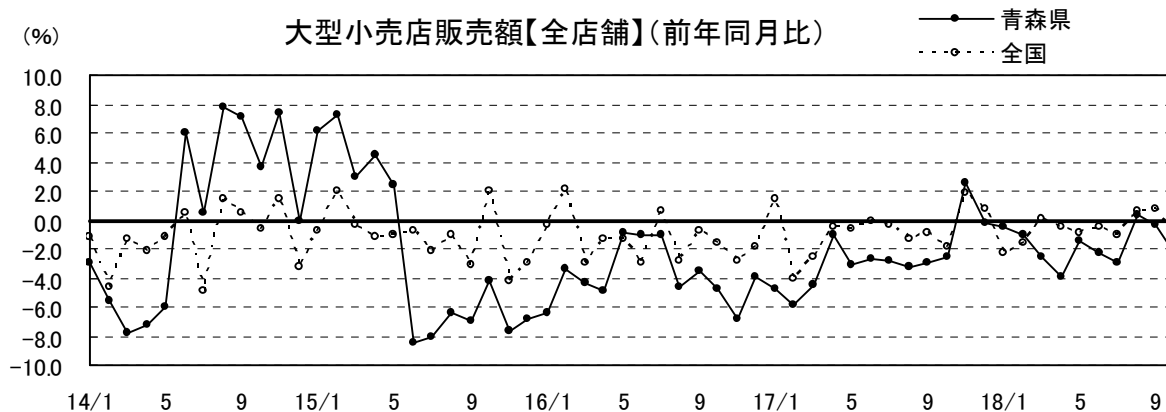
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」（速報）

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

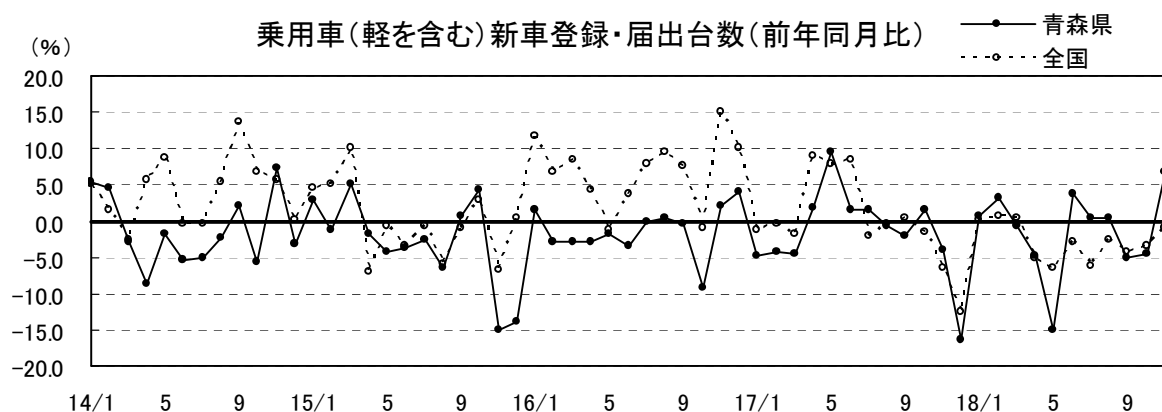
平成18年10月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが139億4千4百万円で前年同月比2.4%減と2ヶ月連続で減少、既存店ベースでは2.3%減と11ヶ月連続で減少となった。百貨店は、気温が高めに推移したため秋冬物衣料が伸び悩んだことなどから、2ヶ月ぶりに前年を下回った。スーパーは既存店ベースでは11ヶ月連続で前年を下回ったものの、全店舗ベースでは主力の飲食料品が伸びを見せたことなどから、3ヶ月連続で前年を上回った。

平成18年11月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,681台で、前年同月比6.9%の増となり、3ヶ月ぶりに前年を上回った。小型車が8ヶ月連続で減少したものの、普通車が4ヶ月ぶりに、軽自動車が6ヶ月連続でそれぞれプラスとなったことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

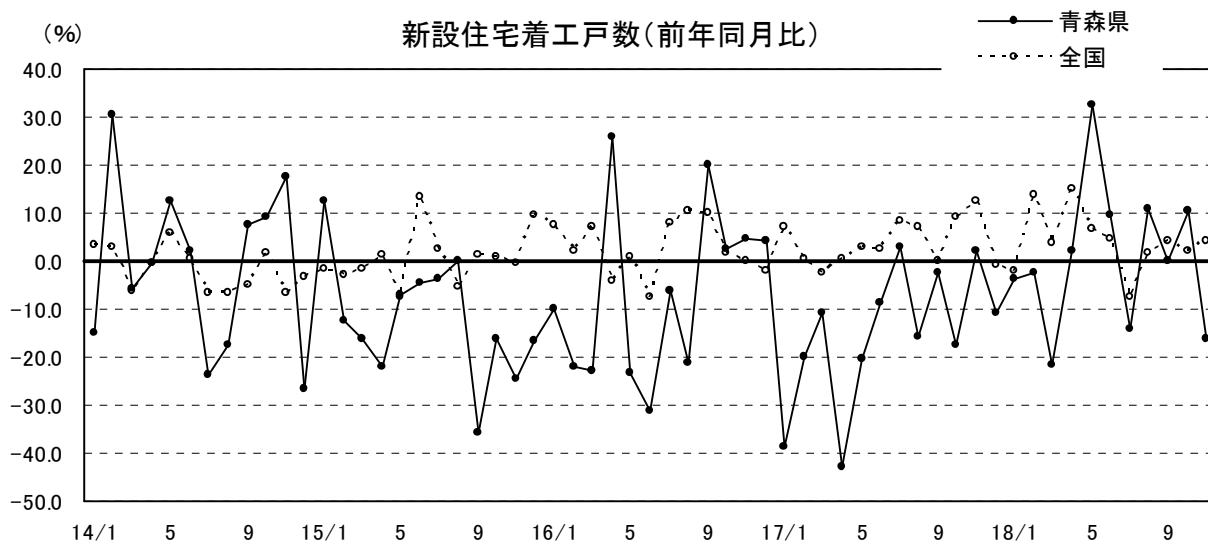
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

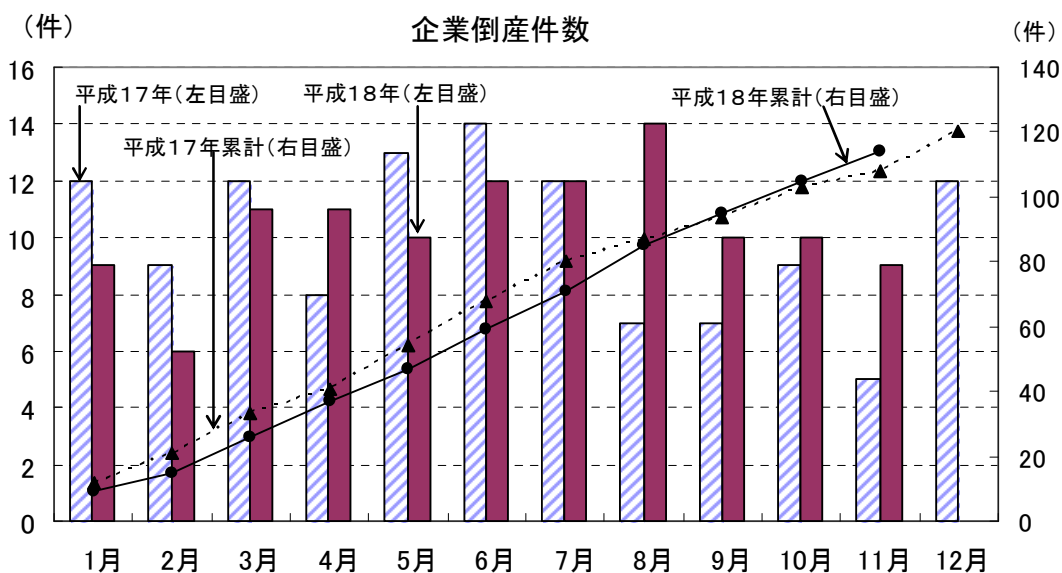
平成18年11月の新設住宅着工戸数は679戸で、前年同月比16.4%減となり、4ヶ月ぶりに前年を下回った。貸家と分譲が減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 企業倒産

平成18年11月の企業倒産件数は9件で、4ヶ月連続で前年を上回った。



資料：(株)東京商工リサーチ青森支店・八戸支店（負債総額1,000万円以上）

(3) 青森県景気動向指数

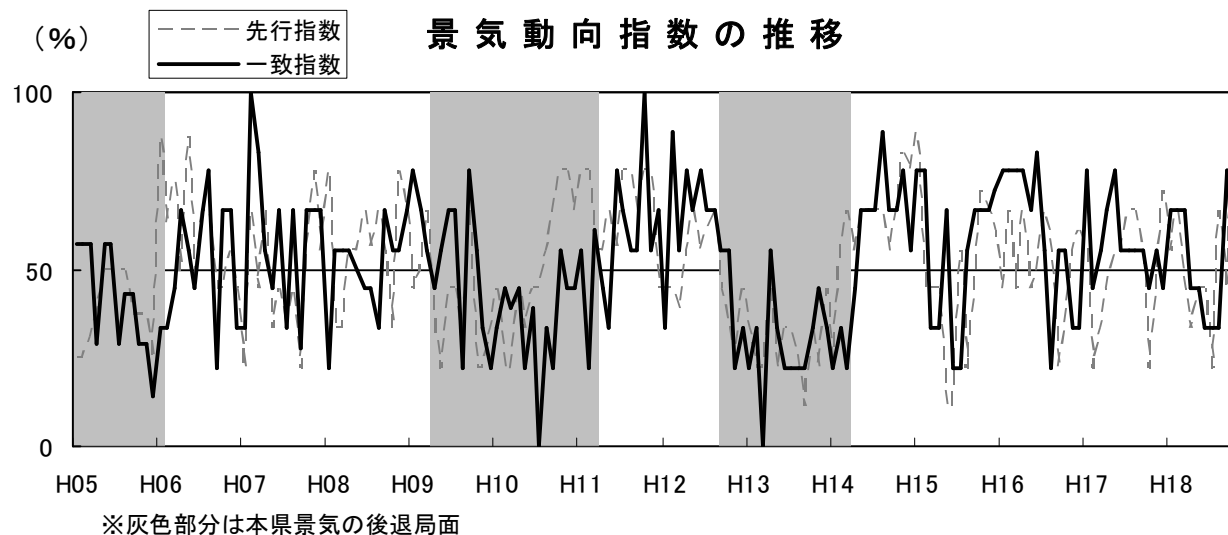
平成18年10月の青森県景気動向指数は、先行指数88.9%、一致指数55.6%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は、2か月ぶりに50%を上回った。

一致指数は、2か月連続で50%を上回った。

遅行指数は、2か月連続で50%となった。

10月の一致指数は、消費および雇用関連指標等がプラスとなったことから、50%を上回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中8指標がプラス）			
乗用車新車登録届出台数	2か月ぶり	新設住宅着工床面積	2か月連続
生産財生産指数	7か月ぶり		
新規求人倍率（全数）	9か月ぶり		
所定外労働時間指数（全産業）	4か月連続		
入職率（製造業）	3か月連続		
建築着工床面積	3か月連続		
企業倒産負債額	4か月連続		
中小企業景況D I	4か月連続		
一致系列（9指標中5指標がプラス）			
大型小売店販売額（既存店）	3か月連続	電気機械生産指数	8か月ぶり
鉱工業生産指数	2か月連続	大口電力使用量	5か月連続
有効求人数（全数）	2か月連続	東北自動車道IC利用台数	2か月ぶり
総実労働時間数（全産業）	2か月連続	日銀券月中発行高	7か月ぶり
海上出入貨物量（八戸港）	6か月ぶり		
遅行系列（6指標中3指標がプラス）			
勤労者世帯家計消費支出（実質）	4か月ぶり	常用雇用指数（製造業）	2か月ぶり
単位労働コスト（製造業）	2か月ぶり	1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	8か月連続	輸入通関実績（八戸港）	3か月連続

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」